

那智大滝と飛瀧神社

那智大滝は日本一の高さを誇る直瀑の滝です。滝の水は、幅 13 メートルの滝口から 133 メートル下の滝つぼに向かって流れ落ちます。その轟音や水しぶき、壮大さが人々に多大な畏敬の念を抱かせたことから、この滝は礼拝の場所となり、やがて正式に飛瀧神社として祀られるようになりました。この神社には拝殿はないため、信奉者はこの神社の御神体（神が宿る物体）である那智大滝に向かって祈りを捧げます。

御滝拝所からは、少し高いところから那智大滝とその右側に広がる原生林の景色が望めます。この滝の滝つぼから汲まれた水は延命長寿のご利益があると言われているのでぜひ飲んでみましょう。

祭祀と伝統

ここで年間を通して祀られている飛瀧権現という神様は、縁結び・夫婦和合の神である大己貴命（おおむなちのみこと）の化身です。飛瀧神社は熊野那智大社の別宮であるため、熊野那智大社の祭神は、大社の火祭の一環として、毎年 7 月 14 日にここに運ばれ、一日だけ「里帰り」します。

那智大滝はその美しさによって神聖な場所とされましたが、神聖とされたからこそ、この滝の美しさは今日まで守られ続けてきたのです。